

2021年4月19日 全8頁

Indicators Update

2021年3月貿易統計

輸出金額は特殊要因で減少した前月から大幅に増加

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+16.1%とコンセンサス（同+11.4%）を大きく上回った。季節調整値で見ると、前月比+4.5%と2ヶ月ぶりに増加した。2月は春節がずれ込んだ影響で中国などのアジア向け輸出が減少したほか、寒波の影響などで米国向け輸出が減少していたが、3月はその反動増が表れたとみられる。また、EU向け輸出の大幅な増加も全体を後押しした。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+4.0%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+5.3%）、EU向け（同+15.1%）、アジア向け（同+7.6%）のいずれも増加した。米国向け、アジア向けでは前月に減少していた品目が増加に転じた。EU向けでは乗用車に加えて中間財の輸出が好調で、ドイツなどでの製造業受注の持ち直しを反映しているとみられる。
- 輸出の先行きは回復基調が継続するとみている。とりわけ追加経済対策が実施されている米国向けや、高水準のインフラ投資が見込まれる中国向けの輸出が全体をけん引するだろう。ただし世界的な半導体不足が国内の自動車生産を抑制し、輸出が伸び悩む可能性には留意が必要だ。

【貿易金額】前月の特殊要因からの反動増で輸出金額は大幅増

2021年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+16.1%とコンセンサス（同+11.4%）を大きく上回った（図表1）。季節調整値で見ると、前月比+4.5%と2ヶ月ぶりに増加した。2月は米国での記録的な寒波や春節などの特殊要因を背景に輸出が低調であったため、3月はその反動で増加したとみられる。また、EU向けの自動車や中間財の増加も押し上げ要因となった。

輸入金額は前年比+5.7%となった。季節調整値では前月比▲0.9%と、4ヶ月ぶりに前月を割り込んだ。品目別では液化天然ガス、液化石油ガス、石炭などのエネルギー関連が押し下げた。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同▲4.0%と減少したのに対し、輸入価格（同）は同+3.2%と上昇した。3月の税関長公示レートは107.13円/ドルと、前年比ベースでの円高が落ち着いてきたことで輸入価格の低下に歯止めがかかった可能性がある。貿易収支は季節調整値で+2,978億円と2ヶ月ぶりに黒字に転じた。

図表1：貿易統計の概況

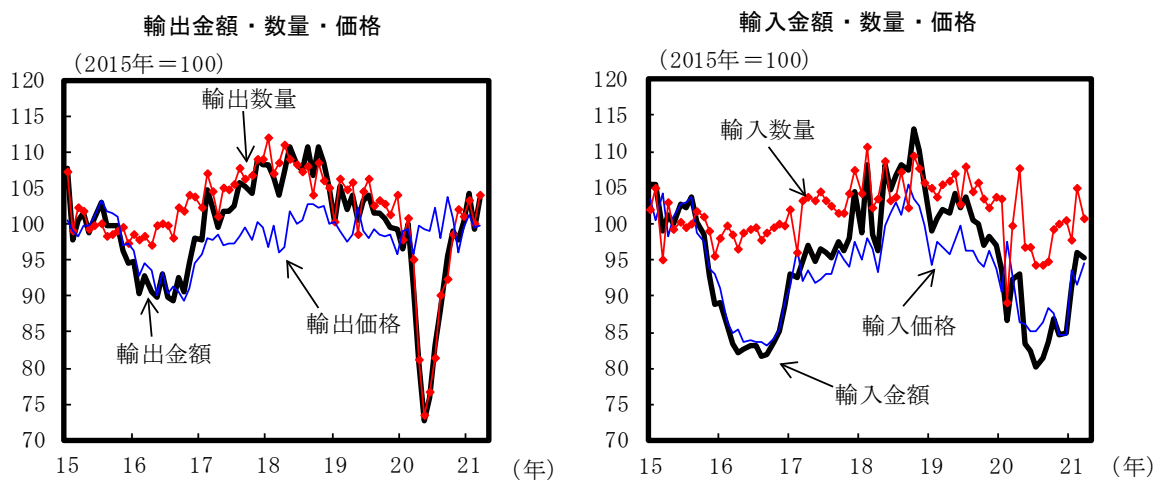
		2020年						2021年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲19.2	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	16.1
	コンセンサス									11.4
	DIRエコノミスト予想									15.5
	輸入金額	▲22.0	▲20.4	▲17.1	▲13.1	▲11.0	▲11.5	▲9.4	11.8	5.7
	輸出数量	▲21.9	▲14.8	▲7.7	▲1.6	▲3.9	▲0.1	5.3	▲4.3	12.6
	価格	3.5	0.1	3.0	1.5	▲0.2	2.1	1.0	▲0.1	3.1
	輸入数量	▲13.8	▲11.3	▲8.1	▲5.5	▲2.1	▲2.0	▲4.1	22.0	3.9
価格	▲9.5	▲10.3	▲9.8	▲8.0	▲9.1	▲9.7	▲5.5	▲8.3	1.8	
	貿易収支(億円)	▲148	2,280	6,674	8,582	3,558	7,447	▲3,272	2,159	6,637
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	9.7	6.0	8.4	3.5	▲1.2	2.3	3.8	▲4.7	4.5
	数量	6.3	10.6	2.6	6.6	3.7	▲1.1	2.2	▲3.2	4.0
	価格	3.1	▲4.1	5.6	▲2.9	▲4.7	3.4	1.6	▲1.6	0.4
	輸入金額	▲1.8	1.2	2.8	3.5	▲1.7	0.7	7.3	4.7	▲0.9
	数量	▲2.7	0.1	0.6	4.7	0.8	0.5	▲2.7	7.4	▲4.0
	価格	1.0	1.1	2.3	▲1.2	▲2.5	0.2	10.3	▲2.5	3.2
		貿易収支(億円)	33	2,572	5,718	5,929	6,148	7,190	5,511	▲387
	税関長公示レート	107.23	106.19	105.96	105.51	104.68	104.11	103.57	104.50	107.13

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

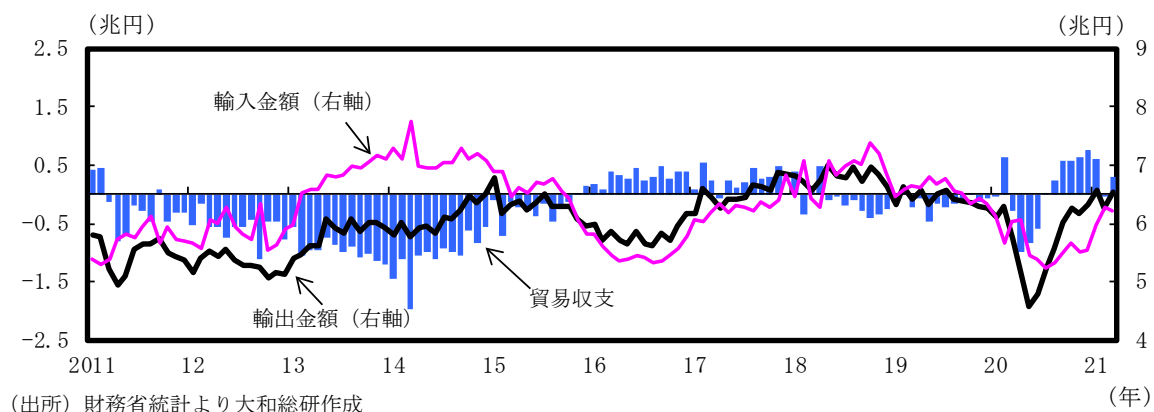
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】前月の減少品目を中心に反動増がみられる

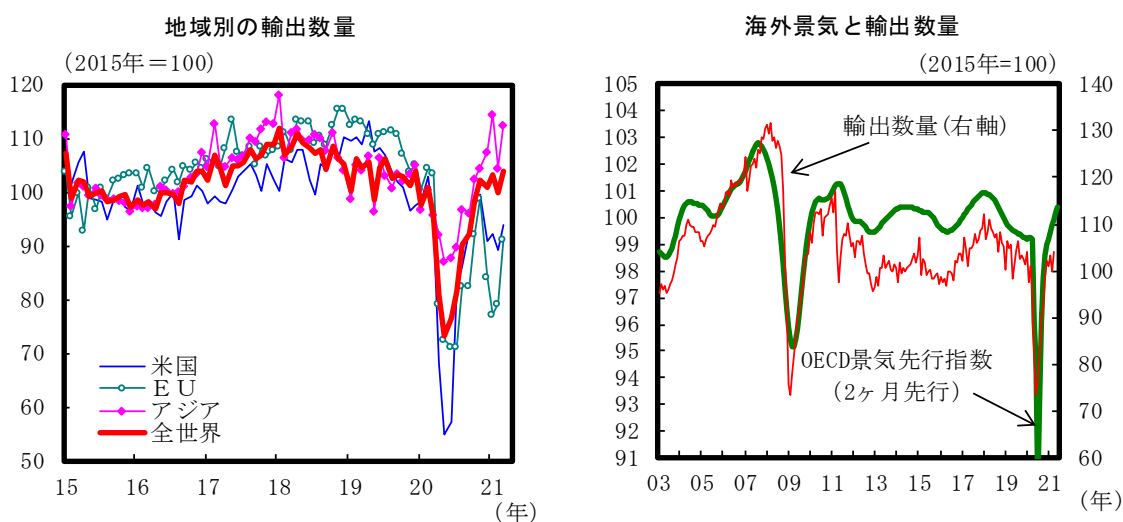
3月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+4.0%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+5.3%）、EU向け（同+15.1%）、アジア向け（同+7.6%）のいずれも増加した。

米国向け輸出は2ヶ月ぶりに増加した。2月は米国での記録的な寒波によって輸出が滞ったが、3月はその反動が表れたとみられる。品目別に見ると、乗用車や半導体等製造装置など、主に前月に減少していた品目が増加に転じた。

EU向け輸出は大幅に増加した。品目別では乗用車が全体を押し上げたほか、鉄鋼、自動車の部分品、電算機類の部分品などが下支えとなった。とりわけ鉄鋼は前月に続いて大幅に増加しており、現行統計開始以来の最高水準にある。ドイツなどで製造業受注が持ち直していることを背景に、中間財の需要が高まっているとみられる。ただし輸出数量全体を水準で見ると、20年10月と同程度にとどまっており、全体に比べ回復が遅れている。

アジア向け輸出は中国向けの復調によって2ヶ月ぶりに増加した。2月は春節の時期がずれ込んだことで輸出が減少したが、20年央から当月までを均してみれば増加基調を維持している。品目別に見ると、プラスチック、半導体等製造装置、乗用車などが輸出額の増加に寄与した。これらはいずれも2月に全体を押し下げた品目であり、3月はその反動増が表れたとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米中向け輸出が回復をけん引する見込み

先行きの輸出は増勢が続くとみている。経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種が進む米国向けや、高水準のインフラ投資が期待される中国向けの輸出が全体をけん引するだろう。

国別に見ると、米国向けは増加が続くとみられる。米国では21年3月に成立した追加経済対策（ARP法）によって1人当たり最大1,400ドルの現金給付が実施されているほか、失業給付の上乗せ期間も延長された。こうした対策が主に4月以降の個人消費を押し上げるだろう。また米国内ではワクチン接種が急速に進んでおり、累計接種回数は2億回を超えた。ワクチンの普及と大規模な経済対策を背景に米国経済がV字回復することで、日本からの輸出も堅調に増加するとみられる¹。

欧州向け輸出は足踏みとなったのち、回復に転じるとみている。欧州では感染力の高い変異株が猛威をふるっており、主要国では3月下旬から4月上旬にかけてロックダウン（都市封鎖）の延長・再実施が相次いだ。英国を除く多くの国でワクチン接種のペースがなかなか速まらない中、短期的には消費機会の抑制が欧州向け輸出の足かせとなろう。他方で足元では新規感染者数、死亡者数の増加がともに鈍化傾向にあるため、ロックダウンの成果が表れて経済活動が再開するにつれて徐々に欧州向け輸出も回復に向かうとみられる。

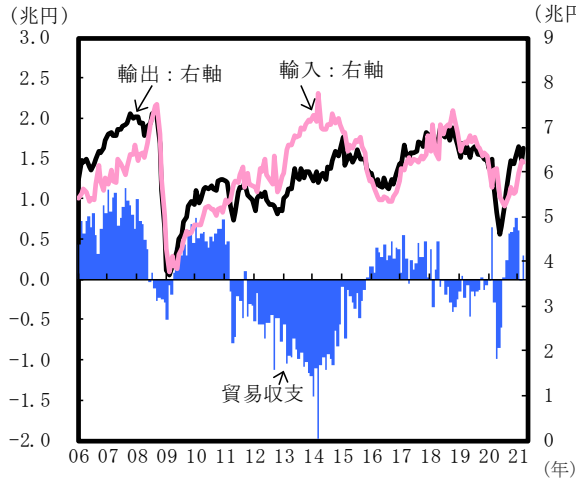
中国向けは底堅く推移するとみている。全国人民代表大会において、インフラ投資に充当される地方政府特別債券の発行額は2021年分が3.65兆元と決定され、2020年分の3.75兆元から僅かな減額にとどまった。旺盛なインフラ投資需要を背景に、中間財輸出が中期的に全体を押し上げる要因となろう。

なお、足元では半導体の不足を背景に国内での自動車の減産が相次いでいる。世界最大の半導体企業である台湾のTSMCは、21年内は半導体の不足が続くとしており、特に自動車向けの半導体不足の解消は23年になるとの見通しを示した。日本の輸出金額の約2割を占める自動車関連製品の国内生産が部材不足によって滞れば、好調な米中経済を前にして輸出の増加が後ずれする可能性がある。米中の旺盛な需要に応えられるか否かが当面の輸出の回復のスピードを左右するだろう。

¹ 詳細は橋本政彦・岸川和馬「[米国経済V字回復による日本経済への恩恵](#)」（2021年4月14日、大和総研レポート）を参照。

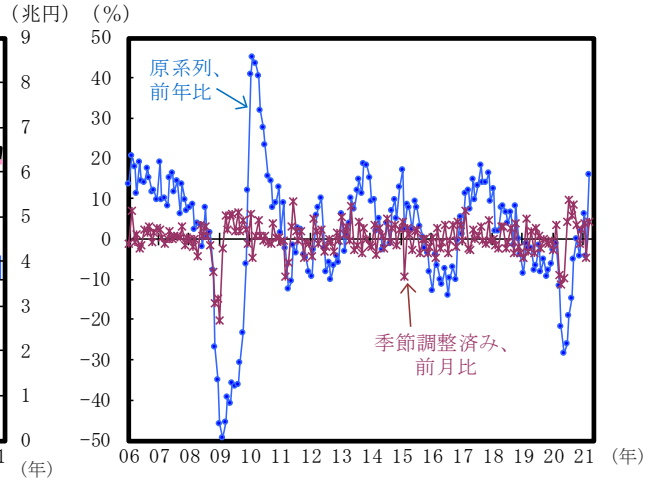
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

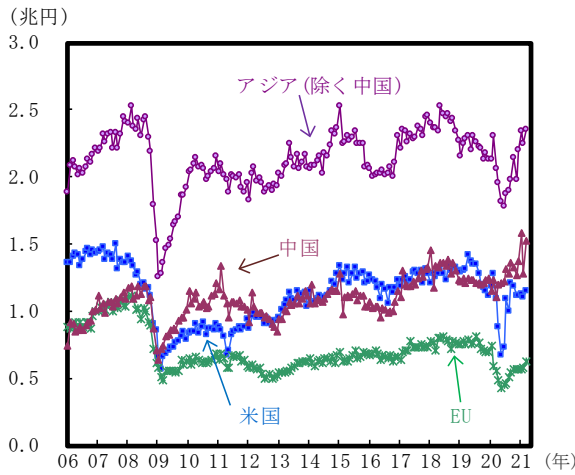


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

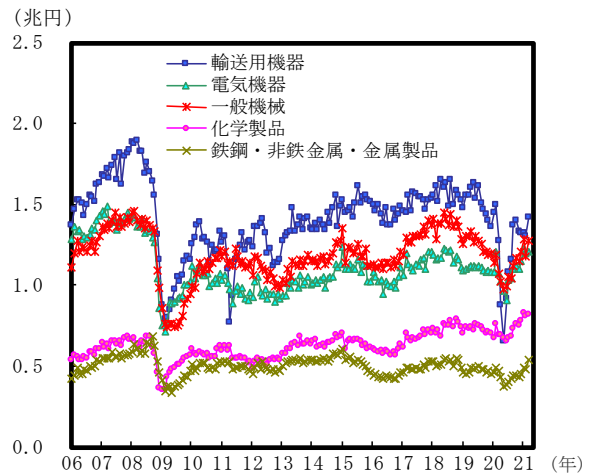


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

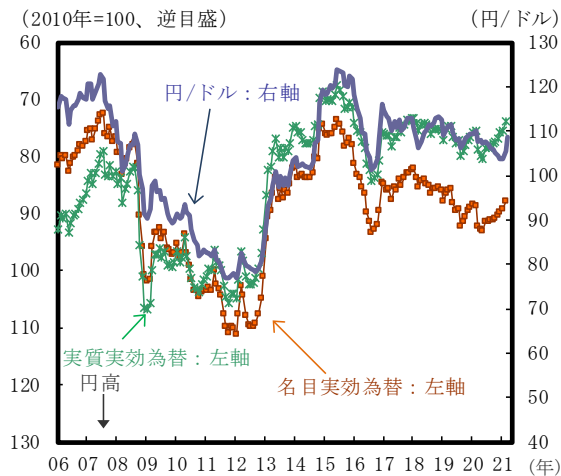


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

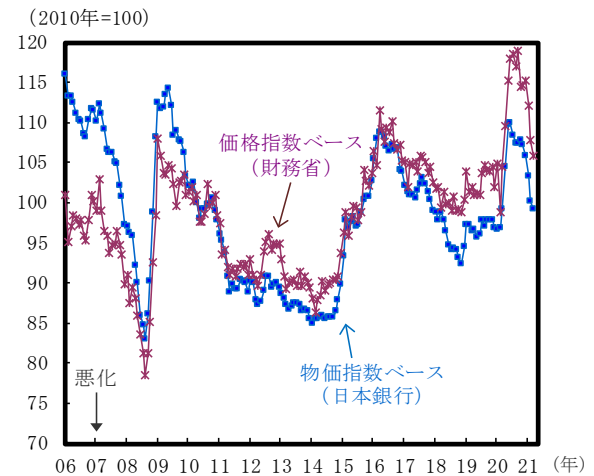


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	16.1	100.0	16.1
食料品	21.4	9.8	13.8	41.8	10.6	40.0	1.2	0.4
原料品	22.3	10.4	24.1	17.3	11.6	48.9	1.9	0.7
鉱物性燃料	▲68.6	▲59.9	▲51.0	▲40.9	▲40.6	▲17.9	1.1	▲0.3
化学製品	8.1	5.4	10.0	23.7	5.2	18.5	12.0	2.2
原料別製品	▲3.6	▲10.6	▲1.6	6.0	▲5.2	13.0	11.5	1.5
鉄鋼	▲20.4	▲18.5	▲11.9	▲8.3	▲6.7	1.5	4.1	0.1
非鉄金属	32.3	14.8	23.2	31.1	5.4	38.9	2.5	0.8
金属製品	1.7	▲9.6	4.3	13.4	▲2.3	18.9	1.6	0.3
一般機械	▲2.8	▲3.0	0.3	12.5	▲1.4	18.7	20.3	3.7
電気機器	4.6	1.0	6.6	13.3	▲0.9	12.7	17.3	2.3
半導体等電子部品	▲2.7	▲4.0	5.0	11.4	▲1.8	9.8	5.1	0.5
IC	▲7.8	▲6.4	1.4	5.3	▲3.8	4.7	3.3	0.2
映像機器	12.9	5.8	4.6	▲0.8	▲2.5			
映像記録・再生機器	20.7	10.3	8.6	▲5.9	▲3.1	63.3	0.4	0.2
音響・映像機器の部分品	6.4	13.4	▲11.1	22.2	▲21.6	0.5	0.2	0.0
電気回路等の機器	4.8	0.7	7.4	19.7	0.4	17.9	2.5	0.4
輸送用機器	▲1.9	▲4.5	▲2.7	▲8.7	▲12.8	11.9	21.7	2.7
自動車	3.0	▲3.0	▲4.2	▲5.8	▲12.9	11.2	14.4	1.7
自動車の部分品	4.0	▲2.8	2.7	▲0.5	▲1.7	14.9	4.3	0.6
その他	1.4	▲10.0	5.3	6.7	▲4.8	23.4	12.9	2.8
科学光学機器	1.1	▲11.8	▲3.6	11.1	▲2.1	17.0	2.8	0.5

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.5	▲2.5	▲0.7	▲4.8	▲14.0	4.9	100.0	4.9
食料品	1.8	13.1	16.4	26.7	▲11.0	26.4	0.9	0.2
原料品	29.5	▲13.7	24.8	8.8	25.7	4.3	0.9	0.0
鉱物性燃料	▲96.4	▲83.3	▲93.5	▲84.6	▲94.3	▲87.0	0.1	▲0.4
化学製品	▲2.1	▲13.9	▲3.2	12.7	▲3.4	▲3.7	6.4	▲0.3
原料別製品	▲9.6	▲14.3	▲1.6	▲3.6	▲11.6	1.8	6.5	0.1
鉄鋼	▲32.3	▲22.1	▲15.4	0.2	14.1	▲13.0	1.0	▲0.2
非鉄金属	▲39.5	▲16.9	▲10.6	▲19.2	▲26.4	5.4	0.8	0.0
金属製品	10.7	▲14.4	0.0	▲1.2	▲9.5	3.4	1.7	0.1
一般機械	▲8.6	▲4.9	▲5.8	▲7.9	▲14.0	9.3	24.4	2.2
電気機器	12.6	0.5	2.9	▲3.4	▲6.1	4.4	15.6	0.7
半導体等電子部品	▲1.2	6.1	0.3	3.0	▲6.8	9.3	1.7	0.1
IC	▲11.1	▲5.4	1.3	▲12.2	▲7.2	16.7	0.8	0.1
映像機器	16.4	11.0	5.6	▲5.9	▲10.7			
映像記録・再生機器	26.4	13.2	14.2	▲10.9	0.9	11.7	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	20.1	6.5	▲19.9	13.5	▲22.0	▲16.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	9.3	1.7	4.8	6.9	▲8.4	18.3	1.7	0.3
輸送用機器	15.3	3.5	2.1	▲6.7	▲20.7	1.7	34.1	0.6
自動車	22.5	6.6	3.9	▲0.6	▲19.7	8.3	26.6	2.1
自動車の部分品	18.6	6.1	12.8	▲8.5	▲10.2	1.6	5.7	0.1
その他	▲7.3	▲6.6	2.7	▲9.2	▲8.5	16.6	11.2	1.7
科学光学機器	9.6	2.7	▲1.0	▲0.7	▲3.0	17.5	2.6	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲19.4	▲18.2	▲17.8	▲22.4	▲3.3	12.8	100.0	12.8
食料品	11.0	12.1	▲5.5	▲4.7	20.2	25.8	0.5	0.1
原料品	▲14.3	▲38.1	▲31.3	▲12.8	▲7.3	23.5	1.1	0.2
鉱物性燃料	▲84.9	▲90.2	▲62.3	▲8.9	▲43.1	▲68.4	0.2	▲0.4
化学製品	2.6	5.7	4.1	▲5.5	8.1	14.1	11.6	1.6
原料別製品	▲17.1	▲20.7	▲18.9	▲6.5	▲1.5	27.4	7.2	1.7
鉄鋼	9.7	▲24.7	▲40.7	▲7.8	▲2.5	112.6	1.4	0.9
非鉄金属	▲28.7	▲20.6	▲14.2	▲25.8	19.6	35.4	1.0	0.3
金属製品	▲20.2	▲22.9	▲0.6	13.9	5.3	22.3	1.5	0.3
一般機械	▲19.2	▲8.8	▲13.8	▲18.5	▲4.1	18.2	23.2	4.0
電気機器	▲12.3	▲11.0	▲1.3	▲8.1	7.5	14.4	18.5	2.6
半導体等電子部品	▲1.0	▲10.6	2.5	3.9	3.5	17.6	2.2	0.4
IC	▲9.6	▲17.0	▲6.1	10.7	▲5.7	25.6	0.9	0.2
映像機器	15.6	0.9	26.6	1.9	▲4.6			
映像記録・再生機器	38.8	13.3	43.5	19.2	▲8.6	104.6	1.0	0.6
音響・映像機器の部分品	▲9.7	▲22.8	▲28.7	10.1	▲8.6	22.6	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲18.8	▲16.3	▲6.9	▲9.4	▲1.6	23.5	1.7	0.4
輸送用機器	▲27.6	▲29.4	▲33.7	▲28.7	▲13.8	4.0	24.6	1.1
自動車	▲34.4	▲35.5	▲49.4	▲32.6	▲24.0	6.1	14.0	0.9
自動車の部分品	▲3.4	▲9.2	▲0.7	▲1.3	4.0	14.6	6.9	1.0
その他	▲25.0	▲27.1	▲23.5	▲44.7	▲5.7	13.6	13.2	1.8
科学光学機器	▲10.0	▲17.2	10.7	▲0.9	0.7	22.5	3.7	0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.4	▲4.3	6.1	19.4	▲0.8	22.4	100.0	22.4
食料品	24.4	6.7	14.5	53.5	14.3	46.5	1.5	0.6
原料品	25.9	19.1	30.9	21.1	15.1	65.3	2.8	1.3
鉱物性燃料	▲49.1	▲47.5	▲32.3	▲24.0	▲24.8	9.1	1.6	0.2
化学製品	9.4	5.6	11.7	31.8	5.5	23.0	15.9	3.6
原料別製品	0.5	▲6.5	1.0	13.8	▲3.6	18.5	14.2	2.7
鉄鋼	▲18.6	▲15.5	▲11.9	▲0.3	▲5.4	6.3	5.2	0.4
非鉄金属	41.9	23.3	31.9	37.8	6.3	42.7	3.9	1.4
金属製品	▲1.7	▲8.6	3.8	19.4	0.3	25.9	1.7	0.4
一般機械	3.2	▲4.7	1.9	26.0	3.1	22.9	20.3	4.6
電気機器	4.9	1.4	8.5	20.7	▲0.5	14.7	20.5	3.2
半導体等電子部品	▲2.9	▲4.3	5.2	12.1	▲2.0	9.3	7.9	0.8
I C	▲7.8	▲6.2	1.5	5.7	▲3.9	3.6	5.4	0.2
映像機器	▲2.6	▲3.5	▲12.4	▲3.0	▲3.4			
映像記録・再生機器	4.6	2.9	▲13.3	▲10.7	▲3.8	96.0	0.3	0.2
音響・映像機器の部分品	▲2.9	15.4	▲9.2	26.5	▲24.1	0.6	0.3	0.0
電気回路等の機器	6.2	1.4	10.9	24.9	2.2	17.6	3.3	0.6
輸送用機器	▲0.9	▲12.3	9.8	▲5.8	▲12.1	21.5	8.4	1.8
自動車	0.1	▲5.8	7.1	▲3.2	▲7.3	16.7	4.6	0.8
自動車の部分品	▲5.4	▲11.2	▲3.8	3.2	▲0.0	25.9	2.9	0.7
その他	8.5	▲12.5	5.9	23.8	▲3.0	30.7	14.8	4.3
科学光学機器	▲0.0	▲14.6	▲7.7	15.4	▲3.2	16.2	3.2	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.2	3.8	10.2	37.5	3.4	37.2	100.0	37.2
食料品	10.5	9.1	18.3	76.9	28.2	55.4	0.9	0.5
原料品	30.3	40.3	79.6	58.3	39.9	145.8	2.8	2.3
鉱物性燃料	▲46.2	▲20.1	▲47.5	91.2	▲31.9	37.9	0.7	0.3
化学製品	4.0	1.8	7.6	40.6	▲1.4	37.8	17.2	6.5
原料別製品	9.8	2.8	6.0	40.9	3.2	40.5	11.8	4.7
鉄鋼	▲0.0	▲4.8	▲13.7	11.7	▲7.9	24.4	3.2	0.9
非鉄金属	34.5	31.4	44.8	104.0	41.2	73.1	3.9	2.3
金属製品	3.3	▲4.0	4.0	42.9	8.2	47.8	1.7	0.7
一般機械	15.4	2.4	6.0	44.3	10.7	38.0	24.4	9.2
電気機器	4.6	2.2	8.1	32.0	▲1.4	22.1	19.1	4.7
半導体等電子部品	▲16.1	▲17.0	▲6.4	4.1	▲13.6	▲5.1	5.1	▲0.4
I C	▲29.7	▲26.7	▲15.9	▲10.0	▲18.6	▲15.7	3.2	▲0.8
映像機器	7.2	0.7	▲20.4	▲6.3	▲2.6			
映像記録・再生機器	11.3	5.2	▲24.3	▲14.6	▲1.4	132.9	0.4	0.3
音響・映像機器の部分品	▲11.4	9.0	▲28.9	64.9	▲39.7	▲2.0	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	15.7	9.0	18.4	38.0	0.6	39.3	3.4	1.3
輸送用機器	16.1	4.1	6.3	12.6	0.9	39.2	9.6	3.7
自動車	22.4	12.3	11.2	13.5	3.5	35.7	5.8	2.1
自動車の部分品	5.0	▲4.4	▲0.6	10.4	▲0.4	48.1	3.6	1.6
その他	18.6	9.0	25.8	43.0	4.0	41.6	13.4	5.4
科学光学機器	▲10.9	▲18.1	▲20.0	0.7	▲14.4	4.8	3.8	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成